

14. 配管中の泡検知

導電率の技術を用いて、配管中に混入した「泡」を検出します。

測定原理

プラスチック製の内側に
向かい合わせて2個の電極を
取付、電極間に流れる
微電流を測定します。

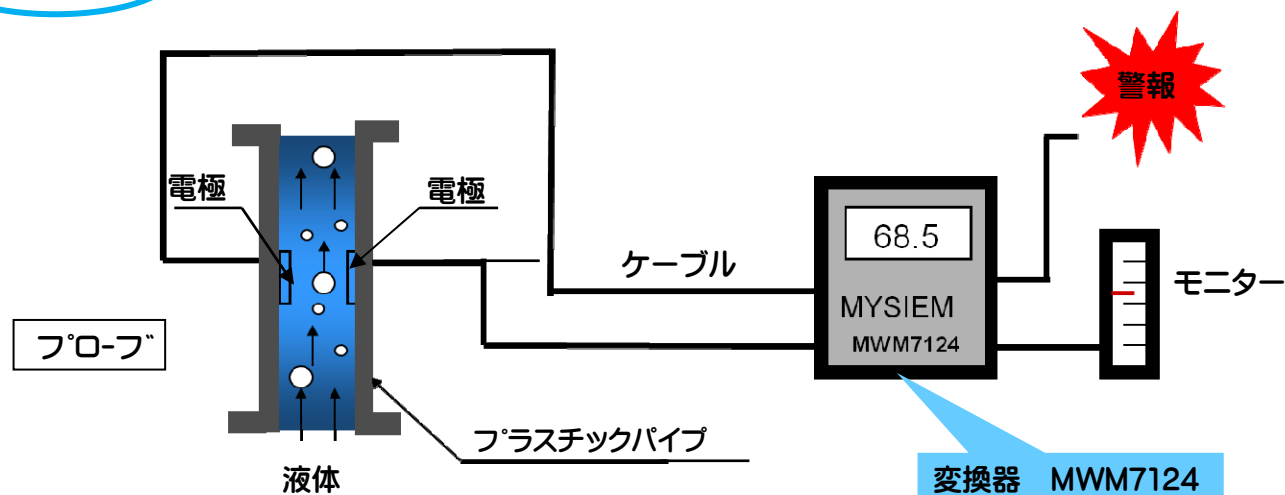
導電性液体で充電している時と
泡がまじっている時と
電流値が異なります。

この差を監視すると
液中に混じった泡を
検出できます。

それが **マイシーム MWM7000** シリーズです。

泡が混入した時、接点信号を出力します。液体の性質に合わせて製作された**プローブ**との組み合わせが条件になります。

機器構成



使用方法

プローブ → 泡を検出しやすい構造と材質で設計します。

使用ケーブル → 汎用シールドケーブル使用し、端子位置が高い場合は特殊ケーブル使用します。

変換器 → **マイシーム MWM7100, マイスター-MCM2121.MYM3130** を使用します。
アナログ出力を使用する事で計器の動作確認になり
安心して本システムを使用できます。